

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月18日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2772401788		
法人名	有限会社 なかよし		
事業所名	グループホーム なかよし		
所在地	〒573-0076 大阪府枚方市東香里元町11-26 電話 072-853-521 FAX共		
評価機関名	近畿マネジメント・サポート・センター		
所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103		
訪問調査日	平成19年7月10日	評価確定日	平成19年7月18日

【情報提供票より】 ( 19年7月11日 記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	・平成 15 年 1月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	5 人
職員数	人	常勤 3 人, 非常勤 4 人, 常勤換算	

### (2) 建物概要

建物構造	(木造) 造り
	2 階建ての1・2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42000/42500 円	その他の経費(月額)	60,000 円	
敷金	有 ( 0円) V無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	V有 (200000円) 無	有りの場合 償却の有無	V有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,330 円			

### (4) 利用者の概要 ( 7月10日現在 )

利用者人数	4名	男性	名	女性	4名
要介護1	2名	要介護2		2名	
要介護3		要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 83歳	最低 73歳		最高 95歳	

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	東香里病院 山本内科 三上歯科
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

普通の家で普段の生活を送って頂くをモットーに職員一同が研鑽を重ね、一人ひとりに配慮した環境を備えているホームである。  
 気付きに始まる介護の展開と家族と一緒にいるような雰囲気を持っているホームで生活時間は職員共々笑顔が絶えないと言った様子である。  
 食事は長年の経験を持った職員がホームの周囲に皆で植え付けをした野菜も利用し、また器にも配慮をした盛り付けを行ってプロのお店のような食事が提供されているので、入居者に方々は食事を楽しみにしている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>前回評価で指摘された項目 排泄のチェック、薬品の収納方法と職員の研修については、施設長を始め全職員で話し合いを重ねて改善されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>利用者のために職員全体でサービスの質の向上を目指して検討を重ね今後も努力することを自覚している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は昨年度より2ヶ月ごとに開催されている。これにより枚方市役所の関係者、市の福祉関係者や他のホームの方々とも、顔なじみの仲となり、討議内容を通して、情報交換が進められ、それを自身のホームでの活動の改善に繋げている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)</p> <p>施設長の昼夜を問はない親身な介護と写真を入れたホームたよりによってご家族の方々も理解し感謝しておられる。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)</p> <p>ホームも自治会の会員となっており、前年に引き続き自治会の回覧にグループホーム便りも回覧してもらっている。地域の夏祭りにも参加して元気をもらって来ている。</p>

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境と施設長をはじめとした全員が地元の自治会の住民の一人として参加意識を持っており、その中でその人らしく暮らせるよう配慮し努力している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	独自のグループホーム10原則を職員の目につく箇所に複数掲示し毎日の介護の指針としている。	○	グループホーム10原則は職員にとって理解しやすく介護の指針となるので、毎日を慣れではなく10原則を踏まえて介護をするよう繰り返し訴えて欲しい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム自身が自治会に加入し、諸行事に積極的に参加(夏祭 運動会 敬老会 等)に参加すると共に、ホーム主催の焼き肉パーティーに役員方に参加してもらっている。	○	運営推進会議も含め地域の各組織と良い人間関係が出来つつあるので今後とも継続の努力をしてホームでの介護に役だたせてください。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価での指摘事項についても、職員を含めて常に改善の意識を持って取り組みを行って来た。今回は評価項目も増加したので職員と真剣に多くのことを気付かされたので、今後の介護への実践を予定している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	枚方市の指導により昨年度より運営推進会議を2ヶ月毎の開催を実施してきた。今年も5月に開催し、7月にも開催が決定している。推進会議に伴う諸活動にも積極的に参加し情報収集が出来ている。	○	今後とも運営推進会議の開催により多くの関係者との交流の成果を得て、介護の向上に活かしてください。
6	9	○市町村との連携 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	枚方市の関係部署とホームの問題点も含め相談と指導を受けている。枚方市のキャラバンメイト養成講座にも出席し地域活動への協力も検討している。	○	市民の方々を一人でも多くグループ・ホームの理解者になっていただけるよう、地味でもかまわないので進めてください。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月一回のホーム便りに写真も掲載して日常の様子を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で家族からいただいた意見をスタッフと十分検討した。その結果で苦情処理マニュアルを作成し、事例を漏れなく把握し対処できるようにした。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来の中核的な活動をしている職員の移動はなく、今までのところ問題なく移行して来た。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長や管理者の運営推進会議、各種研修会出席の報告をホームで一緒に介護する中で職員に伝達している。介護関係雑誌を購読し職員の閲覧を勧めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議での人脈を活かし、活動に伴う各種委員会にも積極的に参加して勉強会や相互訪問などで交流を深め、質の向上の糧としている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人さんに出来るだけ体験入居して、納得の上入居してもらい、持ち込む馴染みの家具や物品などを話題として、雰囲気作りを行っている。	○	施設見学、体験入居、行事参加等により顔見知りを多くし、他の施設の良い案を頂いて、雰囲気作りをするように今後とも努力してください。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフが入居者の会話のなかに一緒に入って、人生の話し合いを皆で楽しんで傾聴している。話のなかにそれぞれの過去の思い出から、介護の参考を得ている。	○	昔のことは割合に覚えているものですから、なにげない会話のなかに介護の大切な手がかりがあるかもしれません、忘れないうちに個人記録に記載するよう職員一同で努力してください。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人やご家族からの聴き取りから、思いや意向を把握、希望を大切に、通院やカラオケの好きな方の意向が判ればそれに応えるようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアマネを中心に随時に本人、家族の希望、掛かり付け医師のアドバイスを元にスタッフ、家族と話し合い、アイデアを集めてより良い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	設定した期間の計画の見直しだけでなく、随時、本人の状態、家族の意向、掛かり付け医師の意見、スタッフ等で単なる継続ではなく別の見方や立場からの検討で、より良い計画作成会議を行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援	施設長の外部の多面的な関係とスタッフの協力により入居者、家族の依頼に応えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	掛かり付け医への通院介護、契約医療機関の月一回の往診の支援、週一回の訪問介護、緊急時の対応へも準備が来ている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今春の場合も含め2名の方の看取りを行って来た。必要な対応、掛かり付け医師や訪問看護師の協力や同意書作成等も来ている。身寄りのない方についてはお葬式もホームが行った。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーに配慮した言葉かけ、個人情報の守秘義務をスタッフ一同心がけている、特に日誌については名前はイニシャルで記入している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活ではあるが、本人の体調や希望に合わせて行事や食事等、臨機応変に対応している。また本人の希望によってデイケア施設に連れて行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事についてはベテランの職員の努力によって季節や食材に合わせた調理が提供されており、盛り付けも、懐石風、松花堂、お花見弁当等の食器が用意されている。野菜は建物の外周の空き地を利用して皆で栽培している。	○	食事はホームでの第一の楽しみとなるように今後とも努力を続けてあげてください。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は一応決めた回数で行っているが、希望や夏季のシャワーなどは適宜行っている。最近は温泉やその他の施設のある銭湯が手近に出来たので、楽しみを兼ねて利用している。	○	銭湯での入浴時間は長くないよう配慮してください。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の盛り付け、配膳、下膳はスタッフと一緒にし、気の合う仲間との雑談、DVDの美しい景色のカラオケ、裏の野菜の収穫等楽しんでおられます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は出来るだけ散歩に行くようにしている。希望者とは買い物にも。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の方々が精神的に安定しており玄関の鍵かけはやっていない。ベル音で出入りには配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	状況に応じて出入り口や避難経路を話し合っている。今年3月には避難訓練に参加した。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日30品目の摂取を心がけた調理がされている。水分チェックは適切におこなわれている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や年中行事に合わせた室内の飾りの変更がされている。遊具についても最近の製品を用意されて、楽しんでおられる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族の希望に合わせ、使い慣れた家具、仏壇などが持ち込まれている。	○	居室の寒暖は温度計による計測をある期間行って計測表によって計画してください。計測位置は部屋の構造にもよりますが足元と部屋の中ぐらいの高さでの2カ所ぐらいが必要ではないでしょうか。